

山の越しのお地ぞう様（石生谷町）

宮崎村から山を越えて、石生谷へ入ってきたところ
に一けんの家があり、家の前にはこんこんとわき出ているお

しよづ（わき水）があります。

ここには、いつのころともわからぬむかしから、二体のお地ぞう様がまつられ、山を越えてきた旅人がそなえつけのしゃくで水をすくい、のどをつるおし、



こしをおろして一ぶくしたといわれます。
むかし、近くにすむ子供が、朝おきるなり言っ
たそうです。
「おつ母、ぼう（ぼく）、よんべ（夜）おもっせい
（へんな）夢を見たんやって。あのお、山の越

しのお地ぞう様の首が水がめん中に落ちてるんやうて。ほいで、はよう上げてほしいって言うてる夢やったんや、どうしたんやろうのう。」
と、それを聞いたおつ母さんは、信心深い人だったので、

「ほうかあ、そりゃあ、おうごっちゃ（大変だ）
よう言ってくれた。はよう見に行つてこなあかんわ、ばちがあたるでな。」

と云つて、二人はすぐにお地ぞう様を見に行きました。行つて見ると本とうに首が水がめの中にしずんでいたの、上げようとしたましたが深くて手がとどかず、そこにあつたしゃくでお地ぞう様の首をすくい上げ、もとの所へせました。

それから、どんな日照のときでも、たかさんの水がわき出してあり、お地ぞう様もやさしい顔で見守つておられます、その後だれか親切な人が、また首が落ちないようにと、セメントでくつめたといふことです。